



広田小学校だより

はまなす

校訓「希望に起ち 充實に活き 感謝に眠る」

陸前高田市立広田小学校

校報 第31号

2026年3月12日

文責 吉田和浩

6年生に たくさんの「ありがとう！」

3月5日(水)に「6年生を送る会」が行われました。この日のために、新執行部を中心として、全校で準備を進めてきました。1年生は招待状を6年生一人ひとりに手渡しました。2年生は「ありがとうメッセージ」を心を込めて作り、3年生はステージを彩る「6年生をおくる会」の題字を書き上げました。4年生はステージの飾りつけを担当し、会場を華やかに仕上げました。5年生は縦割り班ごとに、これまで班をまとめてくれた班長の6年生へ感謝のメッセージを綴りました。本番では、各学年がこれまでの感謝の気持ちを込めた、呼びかけやクイズ、ダンスなどの発表を行い、会場は温かい雰囲気に包まれました。6年生からは、美しい合唱のプレゼントがありました。在校生の「ありがとう」の気持ちが伝わり、6年生からは「ありがとうと言ってくれてありがとう」の思いが、表情に表れていました。これまで一緒に過ごしてきた日々を振り返り、大好きな広田小学校での思い出を胸に、互いに感謝の気持ちを伝え合う、心温まる会となりました。



1年生は、カリスマダンスと6年生にまつわるクイズをしました。



2年生は、どろぼう学校6年生バージョンとダンスをしました。



3年生は6年生クイズと「イイじゃん」を披露しました。



4年生は呼びかけと6年生と「じゃんけん列車」を楽しみました。



5年生が代表してメッセージカードを手渡しました。



6年生は、今年がんばったことと美しい合唱を発表しました。

3.11メモリアル集会を開催しました

3月11日(水)に前矢作小学校校長で現在高田東中学校に勤務されています、蒲生正光先生を講師としてお招きし、令和7年度「3.11メモリアル集会」を開催しました。集会は1年生から3年生の部と、4年生から6年生の部に分かれ、学年に応じた内容を当時の写真などを用いながら以下のようなお話をいただきました。



震災当日、気仙中学校では翌日に予定していた卒業式の練習をしていました。その最中に大きな地震が発生し、校舎は大きく揺れ、90名の生徒とともに近くの高台へ避難しました。避難先から見た海の様子はただならぬもので、さらに高い場所へ移動する必要があると判断し、近くの公民館へ避難しました。その結果として津波の被害を受けることはありませんでした。その夜はとても寒く、毛布1枚に生徒3人が身を寄せ合いながら眠りました。夕食は小さなおにぎりとおかずの味噌汁でしたが、その温かさとおかずのありがたさを深く感じました。余震が何度も続き、生徒は、心も体も不安定になる様子もありましたが、我慢強く、互いに励まし合いながら落ち着いて過ごしていました。明るさを失わず、笑顔を見せてくれる生徒たちの姿に、大人である私たちが励まされました。

話のまとめとして、以下の4つを子どもたちに伝えていただきました。

◎災害が起きたときの備えをしておくこと「津波てんでんこ」

⇒津波が来るとなったときに、どこに逃げるか家族と決めておけば、自分の事だけを考えて避難できる。自分で考えて行動する。

◎「知っている」ことが大切

⇒自然の理(ことわり)と心の理。なぜそうなるのか、理由と結果を学ぶこと。

◎明日、同じ一日が来るとは決まっていない。

⇒どんな一日になったとしても、それを受け入れる。

◎人の心は温かい

⇒多くの人の助けによって日常を取り戻してきた。そのことを忘れてはいけない。

話の結びに、震災で多くのものを失ったが、それでも残ったものがあつた。失つたものより、残つたものに目を向ける。大切なものは残つていると気づかされたと話されました。全校児童が真剣に話を聞き、学びを深めた集会となりました。

地域の皆さんと昔遊びで交流

3月9日(月)に1年生が生活科の学習で昔遊びを行いました。学習では地域の7人の先生からけん玉、おはじき、あやとり、お手玉、コマ回しの遊び方を教えていただきました。子どもたちは、昔の遊びの楽しさを全身で感じとり、笑顔一杯になりました。地域の先生を親しみを込めて呼ぶなど、和やかに交流することが



できました。ご指導いただきました、菅野千春様、村上チタ子様、菊池与喜子様、蒲生ミヨ子様、熊谷弘子様、西條正夫様、白井信子様ありがとうございました。